

山中地域実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名	(該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	宮津	山中	令和5年3月	

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	4.92 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	3.26 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題

当地区は山間部に囲まれた未整備の農地約5haを平均年齢72歳の6戸が耕作する集落で、ほ場整備が未整備の農地の上に耕作地の周辺部は高齢化等により耕作困難となった農地や耕作放棄地が増えつつあるが、借り手農家も限定されていることから新たな規模拡大や流動化・集積が停滞し、山間部に隣接する耕作不能となった農地や奥地の農地についてはそのまま耕作放棄となり、農地の荒廃化が拡大している。

また、耕作地の外周を囲む山裾に鳥獣防護柵を設置しているが、農家数の減少に伴い維持管理が行き届かなくなり鳥獣の侵入に歯止めがかからず、耕作放棄を助長している。

こうした中、後継者が確定している農家はなく、農道・水路などの施設管理も少人数での作業となるため困難を極めており、将来にわたり近隣からの通作者、高齢農業者をはじめ二地域居住も含めた人材を積極的に受入れる中で、多様な農業従事者の確保・育成を図るなど集落全体の課題として考えていく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落の話合いに基づき中核的担い手を中心とした農地の集積・集約を進める。